

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	シャシ整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年後期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	76.0時限（期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車のシャシ関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車のシャシ関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得。		
テキスト	①実習テキスト ②サービスマニュアル ③自動車定期点検整備の手引き		
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	テレスコピック型 フロント・フォーク1	構成部品名称、機能、役割等を確認する。オイルの移動経路、減衰作用及びオイルの性質を学習する	①161
第2回	テレスコピック型 フロント・フォーク2	車両からの脱着及び分解組付けを習得 オイルレベルの調整方法を習得する	②
第3回	ステアリング・ステム	車両からの脱着及び分解組付け、調整方法を習得 ステムベアリングのプレロード調整方法、確認方法を習得する	①162
第4回		ワイヤリングの確認	②
第5回	ボトムリンク型 フロント・フォーク1	構成部品名称、動きを確認	①157～158
第6回	ボトムリンク型 フロント・フォーク2	車両からの脱着及び分解組付けを習得。ステムベアリングのプレロード調整方法、確認方法を習得する	②
第7回	クラッチ	車両からの脱着及び分解組付けを習得。構成部品名称と働きについて復習	①155～156 ②
第8回	定期点検	24ヶ月定期点検の作業項目把握と記録簿の記入の方法を習得する	③
第9回		・エンジン、動力伝達装置、ステアリング装置、ブレーキ装置、足廻り、電気・保安装置の各項目を点検する	
第10回		・上記点検作業の流れがスムーズに出来るようになること	

	ステップ試験（中間試験）	第1回～第10回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回～第10回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	フロント・フォーク、ステアリング・ステム、クラッチの基本的な内容復習と分組作業の習得を目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		